

平成 30 年 度

八代市議会建設環境委員会記録

審 査 ・ 調 査 案 件

1. 所管事務調査 …………… 1

平成 30 年 5 月 1 6 日 (水曜日)

建設環境委員会会議録

平成30年5月16日 水曜日

午前 9時00分開議

午前11時42分開議（実時間8分）

○本日の会議に付した案件

1. 所管事務調査

- ・都市計画・建設工事に関する諸問題の調査
- ・生活環境に関する諸問題の調査

（管内調査（県道二見田浦線の状況について、二見最終処分場の状況について、八代市環境センター建設事業の進捗状況について））

○本日の会議に出席した者

委員長	中村和美君
副委員長	百田隆君
委員	太田広則君
委員	田方芳信君
委員	谷川登君
委員	堀徹男君
委員	山本幸廣君

○委員外議員出席者中発言の許可を得た者

君

○説明員等委員（議）員外出席者

市民環境部部長	潮崎勝君
理事兼環境センター 建設課長	山口敏朗君
循環社会推進課副主幹 兼廃棄物指導係長	田中和彦君

○記録担当書記

上野洋平君

（午前9時00分 開会）

○委員長（中村和美君）

みなさん、おはよう

ございます。それでは、定刻となり定足数に達しましたので、ただいまから、建設環境委員会を開会いたします。

◎所管事務調査

- ・都市計画・建設工事に関する諸問題の調査
- ・生活環境に関する諸問題の調査

（管内調査（県道二見田浦線の状況について、二見最終処分場の状況について、八代市環境センター建設事業の進捗状況について））

○委員長（中村和美君） 本日は、当委員会の所管事務調査であります都市計画・建設工事に関する諸問題の調査及び生活環境に関する諸問題の調査に関連して、県道二見田浦線の状況、二見最終処分場の状況及び八代市環境センターの状況について管内調査を行います。

それでは、本日の管内調査の行程について、執行部から説明を願います。

○市民環境部長（潮崎勝君） 皆さん、おはようございます。（「おはようございます」と呼ぶ者あり）4月から市民環境部長をやっております潮崎です。先輩部長に負けないように職責を果たしていく覚悟でございます。各委員の皆様におかれましては、これまで以上の御指導をよろしくお願いいたします。着座にて説明させていただきます。

○委員長（中村和美君） どうぞ。

○市民環境部長（潮崎勝君） お手元の2ページ目の行程表をごらんいただきたいと思います。

まず最初に二見の最終処分場を視察させていただきます。現場が少し中に入りますと時間がかかりますので、国道3号沿いにございます、しよい駐車場、——昔の味の嵯峨があったところでございますが、そこにて説明をさせていただきます。それが終わりましたら、県道二見田浦線の視察ということで、途中でですね、最終処分場の放流先が二見川にありますので、そこを

少し見ていただいてから、二見の船津橋の付近で説明させていただきます。これは建設部のほうで行います。

最後に環境センターのほうに行ってくださいまして、センターの直近の状況をごらんいただきたいと思います。最後にここに帰りまして、担当部課そろいまして、質疑応答を受けたいと思いますので、よろしく願いいたします。

以上で終わります。

○委員長（中村和美君） 山口環境センター建設課長何かございませんか。はい、どうぞ。

○理事兼環境センター建設課長（山口敏朗君） おはようございます。（「おはようございます」と呼ぶ者あり）着座にて説明します。

現在、環境センター建設事業につきましてですね、7月2日のごみ受け入れ開始を目指しまして、最終段階の工事に入っております。基本的にもう内装工事というところになっております。きょうは現場のほうで、いろいろと足場の部分がありますので、ちょっと今ここで、どういふところを見ていただくか詳しくは御説明できませんけど、まずは現場のほうに行ってくださいまして、見ていただければと思います。もうほぼ足場も外れまして、状況もですね、施設がきちんと見れるような状態になっております。ただ外構工事、道路工事のほうですね、一番頻繁に行われておるところで、道は足場が悪うございますけれども、足元に気をつけていただきまして、現場をごらんいただければと思います。よろしく願いいたします。

○委員長（中村和美君） ただいま説明がありました行程について、何か質問等はありませんか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○委員長（中村和美君） ないようでしたら、管内調査のため、しばらく休憩したいと思います。管外調査も行いたいと思いますので、この散会後に協議を行いたいと思いますので、そ

れぞれの委員さんの御意見をお持ちいただきたいと思えます。それではただいまより、管内調査に出発します。

（午前9時02分 休憩）

（午前11時36分 開議）

○委員長（中村和美君） 皆さま、お疲れさまでございました。（「お疲れでした」と呼ぶ者あり）それでは、休憩前に引き続き、建設環境委員会を再開します。

ただいま、管内調査いたしました県道二見田浦線の状況、二見最終処分場の状況及び八代市環境センターの状況について、何か質疑・御意見等はありませんか。

○委員（堀 徹男君） 管内視察どうもお世話になりました。ありがとうございます。二見の赤松の最終処分場の件について、現状の水質の管理の状況について、少し御教示いただきたいと思えます。

○循環社会推進課副主幹兼廃棄物指導係長（田中和彦君） 循環社会推進課、田中です。よろしく願いいたします。今お手元にお配りいただきました、株式会社クリーンアメニティ二見処分場の現在の管理状況と書かれております資料をごらんいただければと思います。

こちらの資料につきましては、4月の27日に開催されました二見地区の市政協力員の方々への説明の際に、熊本県がお配りになられた資料でございます。まず1ページ目、全窒素処理基準と書いてあります表をごらんいただければと思います。

この全窒素が現在基準を越している部分の主たるものでございます。放流基準が50ミリグラムパーリットルとなっております、この表の下のところ、50のところ濃い線が1本引いてあるかと思えます。こちらが基準となっております。平成12年9月からの測定結果をポイントしてグラフとなっております。グラフの

傾向を見ていただきますと、近年ではおおむね右肩下がりの状況になっておりますけれども、まだ50グラムの基準をクリアできておる状況ではございません。原水のこの基準がクリアしない限りは、この処理水ていうのが、すいません原水が処理をせずに放流というのができないという状況でございます。

1枚めくっていただきますと、続きましてBOD、CODという部分になっております。こちら溶存酸素量とかの部分で、どのくらい水がきれいかという基準で、というふうに御理解いただければと思います。各基準が60ミリグラムパーリットルとなっております、BODにつきましては、原水も放流水につきましてもこの基準をクリアしておる状況でございます。下のCODにつきましては、近年、平成29年度ぐらいではおおむね基準をクリアできているというような状況となっております。

続きまして、その次のページ、全窒素とSSという部分になっております。全窒素は先ほど私がお話しさせていただきました部分の平成27、28、29年を拡大したものが、このような形に、このグラフだと御理解いただければと思います。何回かは基準をクリアできている部分がございますが、まだ全体平均といたしまして50ミリグラムパーリットルの放流基準をクリアできていない状況にあるということを御理解いただければと思います。

その下のSSになりますけれども、これは粒子状浮遊物質といいまして、汚れの部分のどのくらい入っているか、というふうに大体御理解いただければと思います。こちらにつきましては、放流基準が70ミリグラムパーリットルで、近年ほぼこれを原水もクリアできているという状況でございます。

最後のページになりますけれども、PH、いわゆる酸性かアルカリ性かという部分ですが、放流基準がPH5.8から8.6という部分で

あれば、放流できるということになっておりました、こちらは原水も放流水もこの基準を満たしておるという状況でございます。現在といたしまして、熊本県と八代市として、一番問題視しておりますのが、1ページに戻りますけれども、全窒素という部分になってまいります。おおむね右肩下がりですけれども、これを基準が連続して2年間基準を原水でクリアできて、初めて無害化への手続に移れるという状況になっておりますので、現時点まだそれをクリアできておりません。

この二見地区の最終処分場につきましては、このまま水処理を行って、基準をクリアした水を放流すると、処理を続けるという形になります。昭和地区にあります処分場につきましては、こちらは遮断型の処分場でございますので、浸出水というものは発生いたしておりませんので、水のデータというのはいりません。ただしその昭和地区につきまして、その敷地から漏れがないかということで、周辺水路のですね、水質につきましては八代市の私ども循環社会推進課、それと熊本県の保健所のほうで、年に何回か検査をしておりますけれども、今のところ特段異常値というのが検出されておりませんので、昭和地区の遮断型につきましては、今のところ遮断がきちんと効いておるというふうに認識しております。

以上でございます。

○委員長（中村和美君） はい、訂正いたします。田中循環社会推進課副主幹兼廃棄物指導係長でございました。ほかありませんか。（委員堀徹男君「ありがとうございます」と呼ぶ）ほかにもありませんか。ほかにもないようでしたら、以上で、管内調査を終了いたします。

そのほかにも当委員会の所管事務調査について何かございませんか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○委員長（中村和美君） ないようでございます

す。以上で、本日の委員会の日程は、全部終了いたしました。これをもって、建設環境委員会を散会いたします。

(午前11時42分 閉会)

八代市議会委員会条例第30条第1項の規定により署名する

平成30年5月16日

建設環境委員会

委員長